

平成となり、最大の被害 (平成30年7月豪雨)



半田山の土砂崩れ

7月5日(木)から3日間、岡山市内で約300ミリを超える豪雨が降り続きました。一級河川・砂川の破堤や内水等による浸水被害、道路の路肩崩壊、土砂崩れなどが市内で発生し、避難者数3,313名、住家被害7,703戸と甚大な被害を受けました。私も災害直後から浸水箇所、土砂崩れ、路肩崩壊、泥水を

被った田畑、荒れ果てた運動場グラウンドや公園などを視察。合わせて地元の皆さんから説明を聞き、要望を受け、岡山市の担当者なども交え意見交換会(8月27日津島学区)や被害状況調査説明会(9月19日岡山大学)をしてきました。被害を受けられた皆様へ、心よりお見舞い申し上げます。

地域の団結力と ボランティアに感謝

は業者のご協力によって、2日程で生活に支障が出ない程度に道路が復

北区谷万成において、7日未明に土砂崩れが起き、土砂が家屋、墓地、道路、側溝に流れ込みました。発生直後

旧。その後、地元の皆さんや民間ボランティアなど150名を超える方が集まり作業を行いました。地域の団結力の強さを感じると共にボランティアには感謝です！
また、この土地は保安林であるため、岡山県と協議をしながら「治山事業」で防災対策を行う予定です。



谷万成地区

国への要望

この度の被害を受け、我々自由民主党岡山市議団は国に対し、復旧予算の要望を行うため、7

月20日自由民主党本部へ。当日の国会の都合で山下雄平内閣府大臣政務官(当時)へ。また、その後の自由民主党指定都市懇親会

では、安倍総理へも強く予算要望を行い、『わかりました』との返事も頂きました。

個人質問

平成30年9月議会が開催され、46回目の質問をさせて頂きました。私も含め多くの質問が7月豪雨の件となり、避難所の開設場所、被害箇所の復旧予定、内水氾濫などについて質問しました。

避難所については、津島小学校体育館は急傾斜警戒区域のため避難することが出来ません。その代わりの開設所が、岡北・京山中学校であります。高年齢者にとっては遠い場所です。現在、岡山市で



山下雄平前政務官へ要望



安倍総理へも要望

は、岡山大学・つしま幼稚園・明誠学院高等学校と災害協定を結ぶ話し合いをしています。被害箇所の復旧予定については、具体的な場所をあげ質問しました。その一例が

・百間川緑地軟式野球場・ソフトボール場など↓利用率の高い順に年度内を目途に復旧。
・平津橋南の竜王谷川↓年度内を目途に復旧。浚渫は上流部より行う。

急傾斜特別警戒区域

山全体と崩れ現場や校舎ウラを調査。その結果「被害拡大は考えにくい。現状において安

7月豪雨で、半田山は約170メートルの土砂崩れを含め3か所で土砂崩れが発生しました。津島小学校においてはこれ以降4日間臨時休校となったことを受け、岡山市は

内水氾濫については、今後起きないように、万成ポンプの排水能力をあげることや、笹ヶ瀬川の浚渫（そうじ）



内水氾濫

全面が確認された」との議会答弁がありました。岡山市が平成28年よ



説明会

を要望。「補正予算で浸水状況調査や移動式ポンプを追加購入。管理者である岡山県に浚渫を要望します」と。この答弁を受け、同志の議員と協力して、関係連合町内会長にご協力を頂き『笹ヶ瀬川の浚

り半田山を調査し、10月9日に住民に対するその結果を報告する説明会が開催されました。今回の調査の結果、4か所が新たに「急傾斜特別警戒区域」に、平成31年4月1日より指定予定となりました。津島学区連合町内会としては、「急傾斜地崩壊対策事業を活用しフェンスなどの対策物の設置」を岡山市に要望しました。



岡山県への要望書

ハザードマップの見直し

山市危機管理室作成）は、岡山県が平成32年作成予定の浸水想定（砂川など二級河川、

今回の被害を受けハザードマップの見直しを行います。津波/洪水・土砂災害ハザードマップ（岡

深と河川計画の延長』の要望書を岡山県へ渡しました。

公的支援

今回の災害を受け、全国より多くの募金など義援金を頂きました。

災害義援金の配分は、第三者による義援金配分委員会が金額等決めます。10月11日開催の第4回義援金配分委員会では、床下浸水にも1万5千円を配分することなどが決定。証明の発行には諸条件がありますが、今からでも発行出来ます。問い合わせは各区の市民保健年金課までお願いします。

委員会新設

岡山市議会はこの度の災害を受け、避難所やボランティアセンター、り災証明や災害工事などで反省点の洗い出しや、減災対策などの計画作成を目的とした『30年7月豪雨災害対策等調査特別委員会』を新設。

また、市長を委員長に、副市長や各局長らで構成して『課題抽出・検討委員会』を新設し、新たな防災指針を作成します。

新大原橋付近から上流の旭川などを参考に、見直しをかけます。また、浸水（内水）ハザードマップ（岡山市下水道局作成）は、今までの浸水履歴を参考に作っており、今回の豪雨後の消防局の現場視察データや現場での聞き取りなどを使い、平成31年度中に見直しをかけます。

ホームページ（活動日記）を毎日更新しています。「吉本けんじ」で検索して、ぜひ、ご覧下さい。



お困りの事やご相談などがあればご連絡下さい。岡山市議会議員

吉本けんじ

【問い合わせ先】
〇九〇一七七七四六三三